



平成29年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月3日

上場会社名 ティーライフ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 伸司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日 平成29年3月14日

配当支払開始予定日

平成29年4月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第2四半期の連結業績(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第2四半期	3,695	3.5	240	28.1	288	47.7	279	56.1
28年7月期第2四半期	3,572	5.2	187	80.5	195	75.2	179	185.6

(注)包括利益 29年7月期第2四半期 287百万円 (62.2%) 28年7月期第2四半期 177百万円 (142.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第2四半期	65.87	—
28年7月期第2四半期	42.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第2四半期	5,504	4,079	74.1	959.93
28年7月期	5,397	3,910	72.5	920.20

(参考)自己資本 29年7月期第2四半期 4,079百万円 28年7月期 3,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	28.00	28.00
29年7月期	—	17.00	—	—	—
29年7月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,667	6.5	630	20.2	632	41.7	485	44.1	114.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年7月期2Q	4,250,000 株	28年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	29年7月期2Q	57 株	28年7月期	57 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年7月期2Q	4,249,943 株	28年7月期2Q	4,249,943 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成29年3月7日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、中国及び新興国の成長鈍化、英国のEU離脱問題、米国新政権の政策に対する懸念等により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する小売・卸売業界においては、景気回復による消費マインドの改善が期待されるものの、根強い節約志向を背景とした価格競争の激化や、慢性的な人手不足等、厳しい経営環境で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは引き続き「差別化戦略の推進・将来への布石・強固な経営基盤の構築」を経営方針として掲げ、特定市場でトップシェアを狙うNO. 1商品や独自性のあるオンリーワン商品の開発・育成に取り組むとともに、他社にないサービス、顧客との密度の高いコミュニケーションにより、競争優位を基礎とした経営基盤作りに努めてまいりました。また、顧客獲得に向け、海外を含めた新たな販売チャネルの開拓を始めるとともに、ネットショップの利便性の向上を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,695百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

損益面では、営業利益は240百万円（同28.1%増）、経常利益は288百万円（同47.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は279百万円（同56.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

(小売事業)

小売事業では、「ダイエットプーアール茶」・「メタボメ茶」等のリピート率の高いオリジナル商品での定期会員の確保を推進し、拡販に努めてまいりました。成長を続けるEC市場については、大手モールのイベントに合わせ広告を集中展開し、モール内での自社商品のシェア拡大に努めるとともに、レコメンド機能の追加等、スマートフォンへの対応強化を進めたほか、海外ECの展開により販路拡大に取り組んでまいりました。また、定期的に開催している商品券セール（商品券・未使用の切手、ハガキ等の金券でお買い物ができる企画）では、等価引取りキャンペーンを実施し、利用拡大を図るとともに他社との差別化に努めてまいりました。また、将来に向けた投資として、サプリメント「チョウ活宣言 活性フローラ」のプロモーションを積極展開し、次世代商品の育成に注力してまいりました。

この結果、売上高は2,605百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は133百万円（同11.7%減）となりました。

(卸売事業)

卸売事業では、北欧寝具ブランド「Danfill（ダンフィル）」の高機能商品を発売したほか、装飾品ブランド「shyness（シャイネス）」や革製品ブランド「pauch pals（ポーチパルス）」等ハイクラス商品の展開を強化し、国内での北欧ブランドの育成に取り組んでまいりました。また、インテリア雑貨「コポーシリーズ」、あたたか素材を使用した衣類「ルボアシリーズ」等のオリジナル商品の販売に注力し、他社との差別化を推進するとともに、食品のテレビ通販ではお客様のニーズに対応すべく、組み合わせの選択が可能なセット商品の販売を開始しました。併せて、小売事業で取扱っている一部商品の卸売販売を進めたほか、商品展示会への出展や独自展示会の開催により、販路拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,063百万円（前年同四半期比1.6%減）、セグメント利益は、為替変動の影響等による売上原価の減少に加え、販売費及び一般管理費の減少により、81百万円（同451.5%増）となりました。

(その他)

物流センターを活用した不動産賃貸事業では、売上高27百万円（前年同四半期比24.7%増）、セグメント利益は25百万円（同20.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、5,504百万円（前連結会計年度末比106百万円増）となりました。

流動資産の増加（同207百万円増）は、主に現金及び預金が134百万円、受取手形及び売掛金が48百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少（同100百万円減）は、主に有形固定資産のその他（純額）が14百万円、投資その他の資産のその他が70百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,424百万円（前連結会計年度末比62百万円減）となりました。

流動負債の減少（同47百万円減）は、主に買掛金が79百万円増加したものの、未払法人税等が57百万円、流動負債のその他が43百万円、役員賞与引当金が15百万円減少したことによるものであります。

固定負債の減少（同14百万円減）は、主に固定負債のその他が32百万円増加したものの、長期借入金金が49百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,079百万円（前連結会計年度末比168百万円増）となりました。

純資産の増加は、主に利益剰余金が160百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ132百万円増加し、1,651百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、251百万円（前年同四半期末8.6%増）となりました。

これは、主に法人税等の支払額139百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益377百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、61百万円（前年同四半期比552.2%増）となりました。

これは、主にその他19百万円、有形固定資産の取得による支出12百万円があったものの、投資有価証券の償還による収入110百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、177百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

これは、配当金の支払額118百万円、長期借入金の返済による支出58百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年9月5日の「平成28年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,532,568	1,666,615
受取手形及び売掛金	823,390	871,466
商品及び製品	523,153	500,312
仕掛品	39,166	52,031
原材料及び貯蔵品	105,283	128,565
その他	94,464	107,976
貸倒引当金	△15,057	△16,957
流動資産合計	3,102,969	3,310,011
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,035,700	1,035,700
その他(純額)	473,170	458,512
有形固定資産合計	1,508,870	1,494,213
無形固定資産		
のれん	33,263	19,958
その他	63,427	61,533
無形固定資産合計	96,690	81,491
投資その他の資産		
その他	695,045	624,963
貸倒引当金	△6,175	△6,443
投資その他の資産合計	688,870	618,519
固定資産合計	2,294,431	2,194,223
資産合計	5,397,400	5,504,235
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,355	257,650
1年内返済予定の長期借入金	108,329	99,996
未払法人税等	139,427	82,070
賞与引当金	48,884	47,955
役員賞与引当金	22,530	6,633
ポイント引当金	12,727	12,623
その他	428,445	384,637
流動負債合計	938,698	891,565
固定負債		
長期借入金	300,008	250,010
退職給付に係る負債	53,568	56,189
その他	194,295	226,795
固定負債合計	547,871	532,994
負債合計	1,486,570	1,424,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	3,225,584	3,386,559
自己株式	△34	△34
株主資本合計	3,908,799	4,069,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,031	9,899
その他の包括利益累計額合計	2,031	9,899
純資産合計	3,910,830	4,079,674
負債純資産合計	5,397,400	5,504,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
売上高	3,572,336	3,695,938
売上原価	1,320,405	1,295,066
売上総利益	2,251,931	2,400,872
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	792,518	889,692
貸倒引当金繰入額	4,847	7,400
役員報酬	88,950	87,570
賞与引当金繰入額	41,889	44,856
役員賞与引当金繰入額	9,100	6,633
退職給付費用	16,504	12,600
その他	1,110,262	1,111,413
販売費及び一般管理費合計	2,064,072	2,160,167
営業利益	187,859	240,705
営業外収益		
受取利息	1,201	1,169
受取配当金	468	308
デリバティブ評価益	—	44,384
その他	7,625	11,654
営業外収益合計	9,295	57,516
営業外費用		
支払利息	443	340
投資有価証券評価損	719	—
上場関連費用	—	7,500
その他	342	1,452
営業外費用合計	1,504	9,293
経常利益	195,649	288,929
特別利益		
固定資産売却益	21,172	13
補助金収入	—	95,512
保険解約返戻金	8,004	—
受取補償金	39,797	—
特別利益合計	68,975	95,525
特別損失		
固定資産除却損	—	6,720
特別損失合計	—	6,720
税金等調整前四半期純利益	264,624	377,734
法人税等	85,218	97,768
四半期純利益	179,406	279,965
親会社株主に帰属する四半期純利益	179,406	279,965

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
四半期純利益	179,406	279,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,982	7,868
その他の包括利益合計	△1,982	7,868
四半期包括利益	177,423	287,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,423	287,834
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264,624	377,734
減価償却費	44,060	30,237
のれん償却額	13,305	13,305
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△983	2,168
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,443	△929
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,655	△15,897
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	208	△104
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,424	2,621
受取利息	△1,201	△1,169
受取配当金	△468	△308
支払利息	443	340
投資有価証券評価損益 (△は益)	719	△6,010
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	△44,384
固定資産売却損益 (△は益)	△21,172	△13
固定資産除却損	—	6,720
保険解約損益 (△は益)	△8,004	—
受取補償金	△39,797	—
補助金収入	—	△95,512
売上債権の増減額 (△は増加)	△38,569	△48,076
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,266	△13,305
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,306	79,295
その他	4,407	7,124
小計	209,938	293,839
利息及び配当金の受取額	1,731	1,710
利息の支払額	△402	△366
補償金の受取額	124,977	—
補助金の受取額	—	95,512
法人税等の支払額	△105,822	△139,462
法人税等の還付額	1,017	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,439	251,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,800	△10,800
定期預金の払戻による収入	8,500	9,100
有形固定資産の取得による支出	△12,211	△12,917
有形固定資産の売却による収入	24,521	27
有形固定資産の除却による支出	—	△366
無形固定資産の取得による支出	△4,760	△11,960
投資有価証券の取得による支出	△31,651	△1,800
投資有価証券の売却による収入	215	—
投資有価証券の償還による収入	10,000	110,000
その他	25,669	△19,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,481	61,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△41,665	△58,331
配当金の支払額	△114,748	△118,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,413	△177,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	170	△3,367
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	84,678	132,375
現金及び現金同等物の期首残高	994,584	1,518,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,079,262	1,651,363

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年8月1日至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	合計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,469,560	1,080,576	3,550,136	22,200	3,572,336	—	3,572,336
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	14,251	14,431	380	14,811	△14,811	—
計	2,469,740	1,094,828	3,564,568	22,580	3,587,148	△14,811	3,572,336
セグメント利益	151,275	14,711	165,986	20,840	186,827	1,031	187,859

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額1,031千円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	合計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,605,059	1,063,196	3,668,255	27,683	3,695,938	—	3,695,938
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,106	10,012	11,118	2,280	13,398	△13,398	—
計	2,606,165	1,073,208	3,679,374	29,963	3,709,337	△13,398	3,695,938
セグメント利益	133,530	81,137	214,668	25,105	239,773	931	240,705

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額931千円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な子会社の設立)

当社は、平成29年2月14日開催の取締役会において、下記のとおり台湾に子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社グループは海外ECの展開を中長期的な成長戦略の一つとして位置付け、国内市場にて蓄積してきた経験・ノウハウ等を活かし、今後急速な成長が見込まれるアジアを中心とした海外ECの展開を進めております。

台湾において越境ECでの販売を行った結果、現地に子会社を設立し、現地法人として販売活動を行う方が、今後台湾国内における事業拡大を期待できることから、台湾に子会社を設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 名称 | 提來福股份有限公司 (予定)
(Tea Life Taiwan Co.,Ltd. (予定)) |
| (2) 所在地 | 台湾台北市 |
| (3) 代表者 | 董事長 草間 崇 |
| (4) 事業内容 | 健康茶・健康食品・化粧品等の通信販売 |
| (5) 資本金 | 5百万台湾ドル (約18百万円) |
| (6) 設立年月日 | 平成29年4月 (予定) |
| (7) 出資比率 | ティーライフ株式会社 100% |
| (8) 決算日 | 7月31日 |